

# 俳句

## 1年目ステップ9



音声はこちら

たび や  
旅に病んで 夢は枯れ野を かけめぐる  
まつ お ば し ょう  
松尾芭蕉



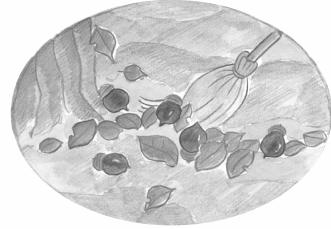
だい こ ひ  
大根引き 大根で道を 教えけり  
こ ば や し い つ さ  
小林一茶



は ね  
つく羽根を 犬がくわえて 参りけり  
こ ば や し い つ さ  
小林一茶



どんぐり  
団栗の とも は  
共に掃かるる 落ち葉かな  
まさおかしき  
正岡子規





おんせい  
音声はこちら

# 慣用句

## 1年目 ステップ9

むね は  
胸を張る

じしん どう どう たい ど しめ  
自信のある堂々とした態度を示す。



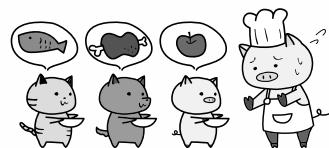
くち あ  
口に合う

たもの あじ いっち  
食べ物の味が、好みと一致していること。



て や  
手を焼く

どうやつてもうまくいかず取り扱いに困って持て  
あま あま  
余す。



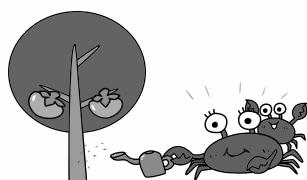
つる ひとこえ  
鶴の一聲

けんい けんりょく ひと ひとこと しゅうじん お  
権威、権力のある人の一言によって、衆人を押さ  
えること。



て しお  
手塩にかける

じぶん くろう どりょく ぶじ そだ  
自分が苦労や努力をして無事に育てあげること。





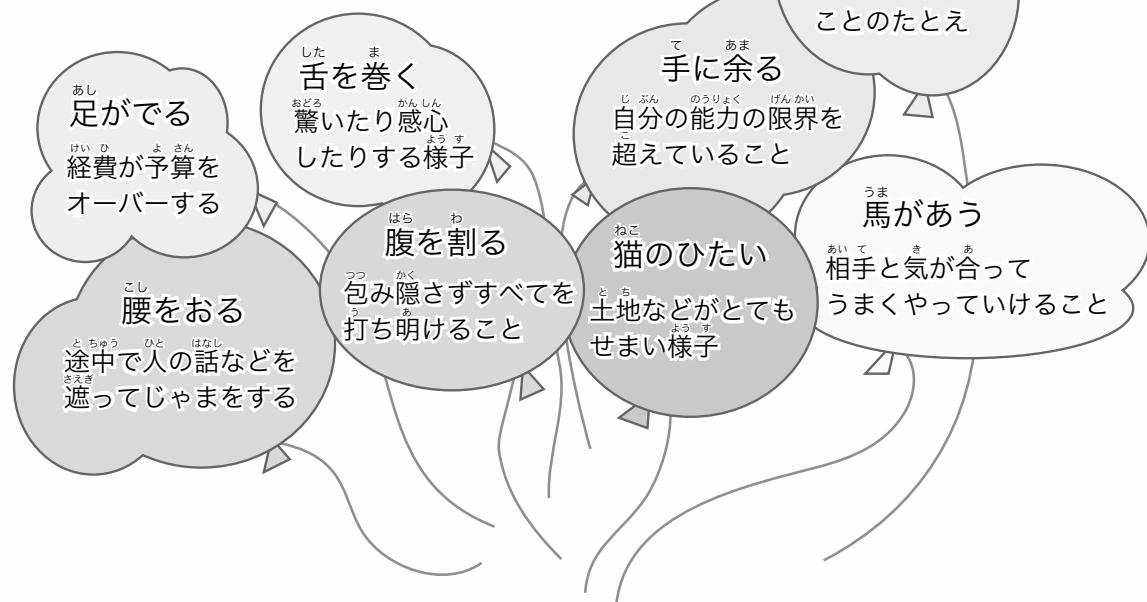
## 《慣用句のうた》

慣用句 二つ以上の言葉が あわさって  
もとの意味と 違った意味に なったもの  
足が棒になる 足が棒になったんじゃ ありません  
足がひどくつかれたこと を意味します

足がでる 舌を巻く 手に余る  
目が早い 腰をおる 腹を割る  
馬があう 猫のひたい 雀のなみだ

め  
目が早い  
はや  
み  
見つけるのが  
すばやい

いろいろな慣用句が ありますね





おんせい  
音声はこちら

ことわざ

1年目 ステップ9

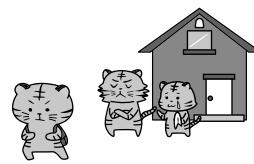
ほね お ぞん もう  
骨折り損のくたびれ儲け  
なんの利益もなく、くたびれただけで終わること。



ろん より じょう こ  
論より証拠  
口先だけで議論するより、実際に証拠を示す方が  
確実だということ。



かわい こ たび  
可愛い子には旅をさせよ  
世間のつらさを経験させた方が、その子の将来の  
役に立つということ。



つき  
月とすっぽん  
二つのもののちがいがとても大きいことのたとえ。



こん や しろばかま  
紺屋の白袴  
人のためにばかり忙しく働いて、自分のことをす  
る暇がないことのたとえ。



こうぼう ふで あやま  
弘法も筆の誤り  
達人でも失敗することもあるというたとえ。



# 百人一首

## 1年目 ステップ9



おんせい  
音声はこちら

住すみ  
岸きしの  
に江え  
夢ゆめ寄よの  
のる  
通よ波なみ  
ひい  
路じよる  
人ひとさ  
めへえ  
目めよくら  
らむん

ち  
神かみは  
代よや  
かもぶる  
から聞き  
くれな  
かると  
いふる  
に田た  
川がわ  
水みず  
くくると  
は

(在原業平朝臣)

(藤原敏行朝臣)

